

## 編集 後記

平成の30年が終わろうとしています。平成元年卒業の私にとって、この期間はそのまま自分の社会人生活と重なるため、感慨もひとしおといったところです。10年ひと昔といえますから、30年は大昔なのかもしれませんが、たしかにこの間に目を見張る進歩がありました。ITと言われる分野です。論文の作成においても、手書きの時代から、ワープロを経て、パソコンでなんでも処理できる時代になり、今では電子投稿も常識となっています。この先さらにどんな進歩があるのか、すでに柔軟性を失った頭には想像すらできません。

さて、第66巻4号をお届けいたします。本号では、原著1編、公衆衛生活動報告1編、資料2編を掲載しています。

原著は、保健師による1歳半健診前からの行動観察評価結果と自閉スペクトラム症診断との関連を検討した論文です。こうした標準化された行動観察評価を早期に導入することで、発達支援の必要な児を発見し、地域レベルで保護者への支援に結び付けられる可能性があると考えられています。

公衆衛生活動報告は、2016年に発生した熊本地震直後から保健所により実施された、避難所を中心とする被災者支援活動の検証結果に関する報告です。現状把握や活動のマネジメント等に苦慮した感染症・食中毒対策および栄養・食生活支援対策について、問題点や課題の整理が行われました。

資料の1編は、特定健康診査を受診しなかった者に対し未受診の理由や健診受診に対する意識を調査した論文です。健診受診の意向と実際の受診行動を組み合わせて解析することで、未受診者の特徴を分類することが可能であったと述べられています。もう1編の資料は、国民健康・栄養調査データと国民生活基礎調査データとのリンク変数の組合せについて検討した論文です。国民健康・栄養調査の非協力者を同定するために行われた研究です。

本原稿を書いている現在、まだ新元号は公表されておりませんが、新しい時代の始まりに少しばかりワクワクしております。公衆衛生の研究、実践に気持ちを新たに取組もうと思われている方々も少なくないと思われます。ぜひ、成果を本誌に投稿いただき、情報を共有したいと願っております。

(西脇祐司)

## 次号予告 (第66巻・第5号)

### 原著

就学前に実施したステップングストーンズ・トリプルPの効果に関する研究：自閉症スペクトラム障害を疑われた児の母親への支援  
.....野尻純子, 他

### 公衆衛生活動報告

歯科における禁煙支援に伴うニコチン依存度および口腔内の経時的变化.....田野ルミ, 他  
埼玉県坂戸市における全小・中学校共通実施の坂戸「食育」プログラムの成果と課題  
.....衛藤久美, 他

### 資料

人型コミュニケーションロボットを用いた運動プログラムが地域在宅高齢者の身体機能および認知機能に及ぼす影響：予備的試験  
.....谷口優, 他